

デザイン史学研究会主催  
第5回シンポジウム

# DESIGN×TEXT×CONTEXT DESIGN HISTORY FOR WHOM?

## デザイン×テキスト×コンテクスト 誰のためのデザイン史？

グローバルな視点からデザイン史研究の発展の経緯を見てみますと、20世紀初頭までは、主に工芸家やデザイナーなどの実践家によってその歴史が語り継がれ、両大戦間期にニコラウス・ペヴスナーやハーバート・リードのようなモダニストのイデオログたちによってデザイン史はモダン・デザインの発展史として登場するに至りました。その後、デザインにおける近代運動への批判の高まりとともに1970年代以降、その姿を大きく変えて今日まで継承されてきています。果たしてデザイン史研究は誰のためにあるのでしょうか。自文化や異文化理解のためデザイン史、企業家や消費者のためのデザイン史、デザイナーやクリエイターのためのデザイン史、鑑賞教育や体験学習のためのデザイン史——このシンポジウムでは、こうしたデザイン史研究の今日的射程を巡って語り合いたいと思います。

日 時: 2007年7月16日(月・祝) 13:00 ~ 17:00

会 場: 埼玉大学東京ステーションカレッジ [JRサピアタワー 9階]  
(JR東京駅日本橋口すぐ <http://www.saitama-u.ac.jp/coalition/satellite.html>)

参加費: 一般1,500円、学生500円 (研究会会員・埼玉大生は無料)

共 催: 埼玉大学大学院文化科学研究科

### プログラム

12:30 受付

13:00 開会のあいさつ

#### 第1部

13:05 基調講演 ジョン・ヘスケット(香港理工大学)

#### 第2部

14:05 基調報告1 栄久庵祥二(日本大学)

14:45 基調報告2 長澤忠徳(デザインコンサルタント・武蔵野美術大学)

15:25 休憩

#### 第3部

15:45 パネル・ディスカッション

パネリスト: ジョン・ヘスケット、栄久庵祥二、長澤忠徳

コーディネーター: 井口壽乃(埼玉大学)

通訳: 菅 靖子(津田塾大学)

16:55 閉会のあいさつ

デザイン史学研究会

E-mail: [designhistoryworkshopjapan@hotmail.com](mailto:designhistoryworkshopjapan@hotmail.com)

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/dhwj/index.html>